

83号線ブロック部会の活動報告

1) 第31回ブロック部会議事要旨

83号線ブロック部会 第31回ブロック部会 議事要旨

開催日時	平成27年10月27日(火) 午後7時～8時20分
開催場所	十条台ふれあい館 第一ホール
出席者	部会役員 : 原副会長 事務局 : 岩本課長、國保、和田、遠藤、新田(北区十条まちづくり担当課) コソカウト : 高尾、木村、津端、鈴木((株)アルメックVPI)
参加者	21名
議事次第	◆報告◆ 1. 補助83号線整備の進捗状況について 2. 密集事業の進捗状況について 3. その他 ◆議題◆ 1. 補助83号線沿道(Ⅱ期区間)のまちづくりについて

【開催要旨】

1. 報告1. 補助83号線整備の進捗状況についての説明概要

○補助83号線整備の進捗状況について、東京都から説明がありました。



【第31回補助83号線ブロック部会の様子】

2. 報告1. 補助83号線整備の進捗状況についての質疑応答

- (参加者) 補助83号線の断面図はもらえますか。また、環七と立体化の計画となっていますが、それで間違いなく進むのでしょうか。
- (東京都) 今回の工事は平面で行います。ただし計画上は立体交差です。
- (参加者) 平面で工事した後、立体化で工事するのは、住民の負担になるし、予算の無駄遣いではないのでしょうか。
- (東京都) 環七より北側区間の事業化スケジュールが決定していないため、今回の工事は平面で行います。おっしゃるとおり、一度にできるのが望ましいのですが、環

七までのこの区間は、防災上優先的に進めるべき区間であるため、着手しているところ です。

- （参加者） 立体交差化になることを前提としたつくりにしておくべきです。ところで図面はどういただけるのでしょうか。
- （東京都） 図面は、手持ちのもので良ければ、後ほどお渡しします。
- （東京都） いずれ、環七の北側についても事業を進める計画ですので、いただいたご意見は担当部署に伝えます。ただし、防災上優先すべき区間という考え方で、今回事業を進めていることをご承知ください。
- （参加者） できるだけ早く事業を進めてもらいたいと思います。通過する自動車が細い道に進入しており危険な状況にあります。
- （東京都） できるだけ早く進めて参ります。
- （参加者） 83号線は、もともとは40～50mで、十条台小学校あたりからかつての区役所（現在の保健所の位置）まで拡幅する計画でした。それが、区役所が移転し現在のかたちとなりました。現在の概成部分のほとんどは幅員18mほどで、20mありません。このため、その先も20mにする必要はありません。しかも区役所の移転が殆ど決まっていますので、それにあわせて見直しをすべきです。
環七との交差部にある小さな神社はどうなるのですか。また、環七北側が工事された場合、八幡山はどうなるのですか。文化財をこわすような計画は今の時代に合っていない。また、交通量の点からも拡幅の必要はありません。環七を計画したときは神社を残すようにされています。
- （参加者） 先程、通過車両の進入問題があるとの意見がありました。色々問題はありますが、決まったことなので早く進めて欲しいと思います。
また、会議の時間は限られているので、問題点については改めて話し合うということにしたかどうか思います。
- （東京都） 概成道路の整備は必要です。また、都市計画道路は都市計画決定して以降、何度も見直しをしてきています。今後も必要に応じて見直しをしていきます。
また、交差部にある小さな神社については関係者と話し合いを始めたところです。

3. 報告 2. 密集事業の進捗状況についての説明概要

- 密集事業の進捗状況について北区から報告がありました。

4. 報告 2. 密集事業の進捗状況についての質疑応答

- （参加者） 北区は富士塚の保存のため、東京都に対して、どういう提案とか働きかけをしてきましたか。具体的に教えてください。
- （北区） 文化財としての取扱いの中で、所有者である富士講、教育委員会、文化財保護審議会において、それぞれ協議検討しています。なお具体的な内容は、事業者である東京都と所有者である富士講で詰められています。

5. 議題1. 補助83号線沿道（Ⅱ期区間）のまちづくりについての説明概要

○補助83号線沿道（Ⅱ期区間）のまちづくりについて北区から説明がありました。

6. 議題1. 補助83号線沿道（Ⅱ期区間）のまちづくりについての質疑応答

- （参加者） 地区計画において壁面の位置の制限とありますが、これは隣地から、例えば1m下げなさいということですか。建築基準法で、防火地域または準防火地域で外壁を防火構造にすると隣地ぎりぎりに建てられるとありますが、どちらが優先するのでしょうか。
- （北区） 地区計画に合致する必要があります。
- （参加者） 敷地というのは何をもちて敷地というのでしょうか。
- （北区） 建物に対する敷地です。登記上の筆とは必ずしも一致しません。
- （参加者） 平成28年度に予定されている密集事業の勉強会とはどのようなものでしょうか。区で決定した計画を説明するような会でしょうか。
- （北区） 密集事業とはどのような事業かとか、区内部で検討した課題や事業効果などについてお示しします。決定した事業計画を説明すると言うより、区が考える必要な事業について、まずは認識、共有してもらいたいと考え、区と一緒に課題を解決する方策についての勉強会を予定しています。
- （参加者） 補助83号線の断面について、歩道の幅員はどの程度でしょうか。
- （東京都） 標準断面で、自転車道が約2m、植樹帯が約0.8m、歩道が約3.7mとなります。ただし車線が増える交差点などは、必ずしもこうはなりません。
- （参加者） 3.7mあれば安心して通れます。
- （参加者） 2車線とはどういうことですか。
- （東京都） のぼり1車線、くだり1車線となります。
- （参加者） この平面図には、作成者の記載がないため、責任の所在が分かりません。
- （北区） 本日はブロック部会であり、スライドの資料はブロック部会の資料です。あくまで、東京都は報告にきているということで、説明会ではありません。都の説明会では正式な資料として提供されると思います。
- （参加者） ブロック部会と言っても、東京都が説明する限りはきちんとすべきと思います。
ところで町会長が前に座って司会をしているのはおかしいと思います。こちらに座って話を聞くべきではないでしょうか。
- （東京都） 今後行う説明会の資料では、きちんと記述し、責任の所在を明らかにします。また、今後、工事に着手する際は事前にお知らせを配付します。そこでは、線形なども含めた内容のものを東京都からお知らせする予定です。
- （北区） ブロック部会の主催者は、十条地区まちづくり全体協議会です。協議会は、町会等で構成し、町会長にブロック部会長等に就任いただいているところです。北区は、協議会の事務局となります。そのような意見が出たことについては、十条まちづくり全体協議会のなかの幹事に伝えます。
- （参加者） 事業に入るまえに断面図を出して欲しかった。どういう道路ができるの

か、もっと早く出すべきです。事業化されてから断面について説明するというのは遅いと思います。

- （東京都） 歩道や自転車道の構造が確定していませんでしたので、以前、提供した断面図では、自転車道がはっきりと分かれていませんでした。
その後、将来予定される道路管理者や交通管理者と協議調整を行いながら、断面の構造を検討してきたという経緯があり、この断面が決まったのは今年の9月です。
- （参加者） それでは住民の意向は聞けないと思います。計画自体を我々住民は早めに知りたいのです。
- （北区） 東京都は工事の説明会を来年度行うこととしています。また、この83号線ブロックでは、地区計画を定めて、来年度から都市防災不燃化促進事業を導入していきますが、これは道路と両側宅地の一体的な事業となりますので、東京都の説明を受けてフォローできるような時間を確保したいと考えています。
- （参加者） 説明では、補助83号線の事業は平成32年3月まで延伸するということでしたが、これはオリンピックにあわせたということでしょうか。
- （東京都） よく聞かれるのですが、オリンピックとは関係ありません。またオリンピック道路でもありません。
- （参加者） ということは平成32年3月には、おおむねの目鼻立ちがつくと考えて良いのでしょうか。自身が高齢なこともあり、危険な歩道が早く無くなれば良いと思います。
- （東京都） 今の計画では平成32年3月完成をめざしています。なお、用地をお譲りいただいたところは囲うだけでなく、歩行者が歩けるような空間にしたいと考えています。

以上